

令和4年度 第3回 いいせんネット研修会
～薩摩川内の今を知り、支援へ役立てよう～

日 時：令和5年2月28日（火）19:00～
川内看護専門学校 1階会議室

【会次第】

進 行：川内市医師会在宅医療支援センター 林 千鶴

1. 開 会

2. 挨拶：川内市医師会 理事 有村 隆

3. 講 演

①報 告：「令和4年度入退院調整ルールアンケート結果について」
報告者：川薩保健所 健康企画課 健康増進係長 五反田 都子氏

②講 演：「ヤングケアラーの実情について」
講 師：薩摩川内市障害・社会福祉課 グループ長 中島 啓介氏

4. 質疑応答

5. 閉 会

川内地域の多職種連携を行うためのネットワークの総称(愛称)

『 い い せ ん ネット 』

良い 医療連携 川内(川薩) ネットワーク
○○せん(方言)

<川内市医師会在宅医療支援センター>

令和4年度
「川薩地域入退院調整ルール」
アンケート結果について

令和5年2月28日(火)
川薩保健所

1

入退院調整ルールに取り組むのは？

重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**市町村が中心となり**、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(**地域包括ケアシステム**)を地域の特性に応じて構築していくことが必要。

病院と居宅介護支援事業所・地域包括支援センターが連携し入退院調整ルールに取り組むことで**在宅医療・介護連携を推進**していく。

2

入退院調整ルール目的

患者さんが、「住み慣れた地域でその人らしい生活を最後まで」送ることができるよう入院した時から、退院後の生活や療養が円滑に送れるよう医療と介護が連携した支援を図ります。

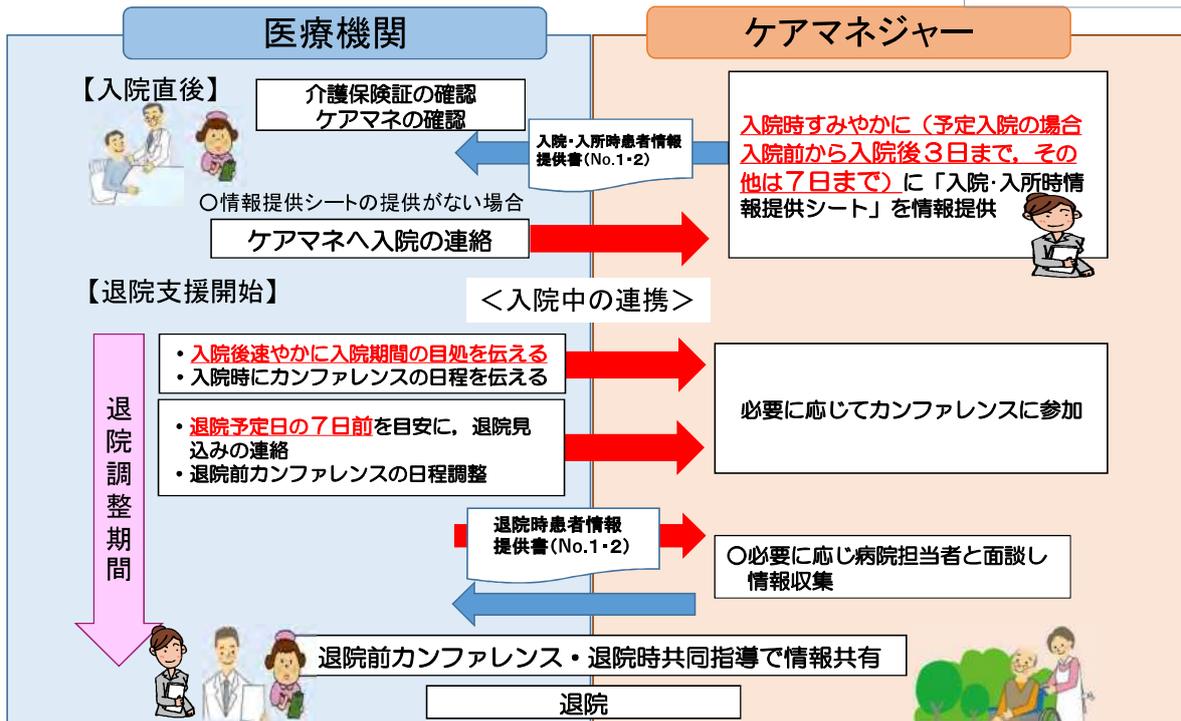


入退院支援がなかったために困ったことになった患者さんや家族を1例でもなくすために！

3

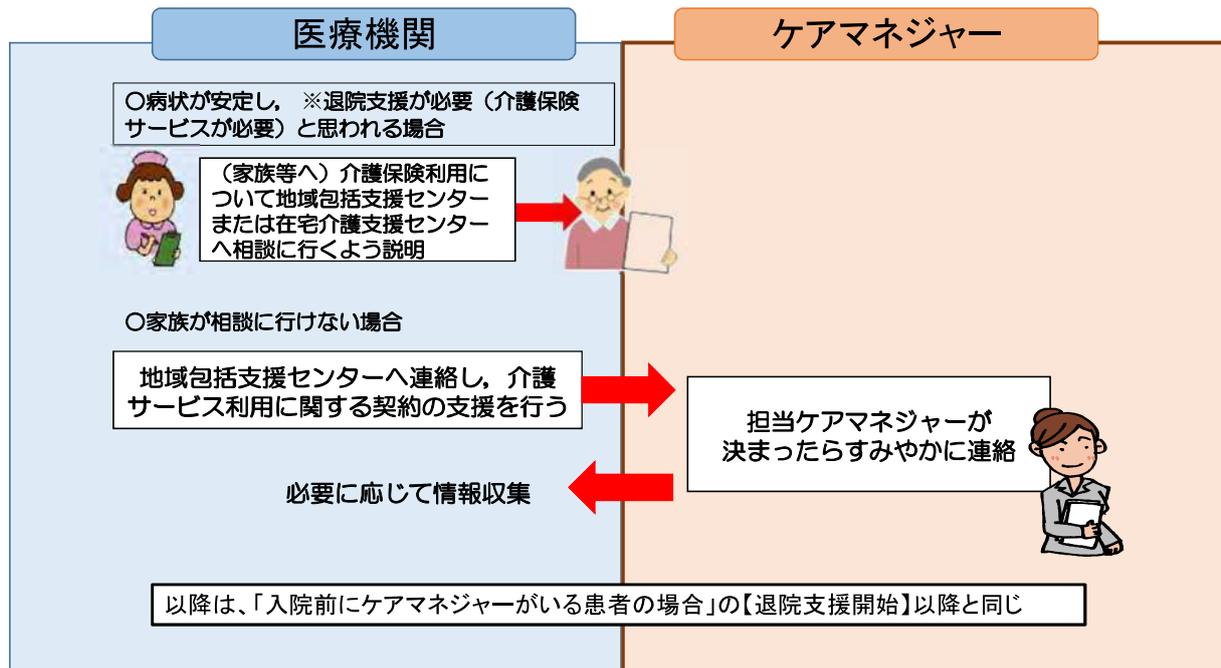
入院前にケアマネジャーがいる患者の場合

川薩地域入退院調整ルール
(令和3年11月版) P2



4

入院前にケアマネジャーがいない患者の場合



5

令和3年度川薩保健所の取組

- 令和3年6月 各医師会, 各医療機関, 各市町にルールの確実な運用にむけて依頼
- 令和3年7月 運用後アンケート調査
- 令和3年11月 川薩地区在宅医療推進連絡協議会にて調査結果報告
医療介護連携に関する意見交換会にて調査結果報告
薩摩郡医師会在宅医療推進多職種意見交換会にて調査結果報告
- 令和4年1月 川薩地域入退院調整ルール検討会開催
- 令和4年3月 川薩地域入退院調整ルール検討会の報告(ルール参加医療機関, 居宅介護支援事業所, 各関係団体, 各市町)

6

令和3年度川薩地区入退院調整ルール検討会において

団体名	取組
看護協会	情報提供書の活用, 退院時や必要時のサマリー等の発行
介護支援専門員協議会	医療連携研修会の開催
ソーシャルワーカー協会	基礎研修(入職3年目までの方を対象とした研修)において, 退院調整ルールについて説明 基礎研修の所属機関へ伝達講習
訪問看護ステーション協議会	ケアマネに入院・入所時患者情報提供書での情報提供依頼 医療機関との連携ツールの統一の必要性について検討
市町の介護担当課	居宅介護支援事業所連絡会を活用しての周知 医師会委託の在宅医町・介護連携推進事業で周知
地域包括支援センター	ケアマネ研修会での周知 医療機関の相談員との情報共有 退院カンファレンスに参加し, 支援の方向性を共有 ケアマネ, 訪問看護等との連携
在宅医療支援センター	意見交換会による「ルール運用アンケート」の結果報告 ホームページへの掲載

7

川薩地域入退院調整ルールの確実な運用のために、取り組まれたことは？

8

平成31年3月に運用開始した「川薩地域入退院調整ルール」

【調査対象期間】 令和4年7月の1か月間

【対象】 (1) ケアマネジャー(以下CM) 川薩圏域各市町の居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターCM
(2) 医療機関(15医療機関) 川薩地域入退院調整ルール参加機関

【アンケート項目】

① ケアマネジャーアンケート

- ・ 病院からの引き継ぎ連絡 (退院調整) 有無
- ・ 連携シートの活用状況等
- ・ 連携シート運用後の入退院支援等について
- ・ 連携シートの理解や医療機関との連携等について
- ・ 連携シートの改善点等
- ・ 退院調整の事例 (上手くいった事例, うまくいかず状況が悪化した事例)

② 医療機関アンケート

- ・ 連携シートの活用状況等
- ・ 介護保険受給者の入退院数及び情報連携の件数
- ・ ケアマネジャーとの退院調整窓口等
- ・ 入退院調整にかかる対応の状況について

* 「退院調整」とは

要支援・要介護状態の患者(申請中の者を含む)が退院する際の病院から介護支援専門員への引継ぎの連絡(退院前の多職種カンファレンス, 医療ソーシャルワーカーとの個別面談, 電話やファックス, メールでの連絡等)

9

アンケート回答者の状況 (R4.7月分調査)

① ケアマネジャーアンケート

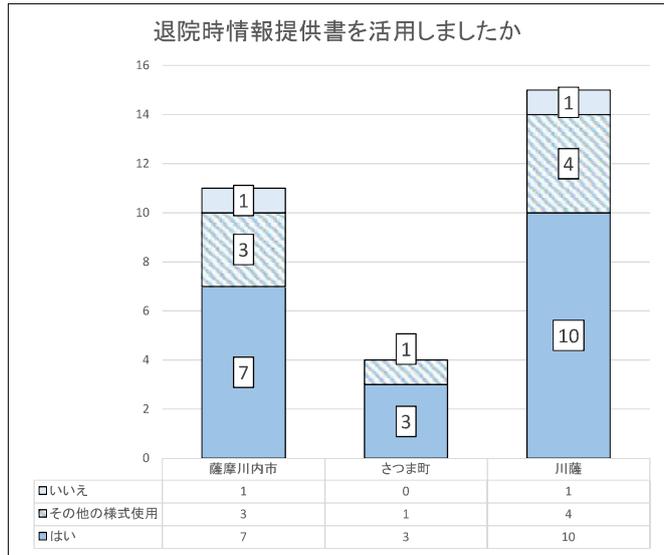
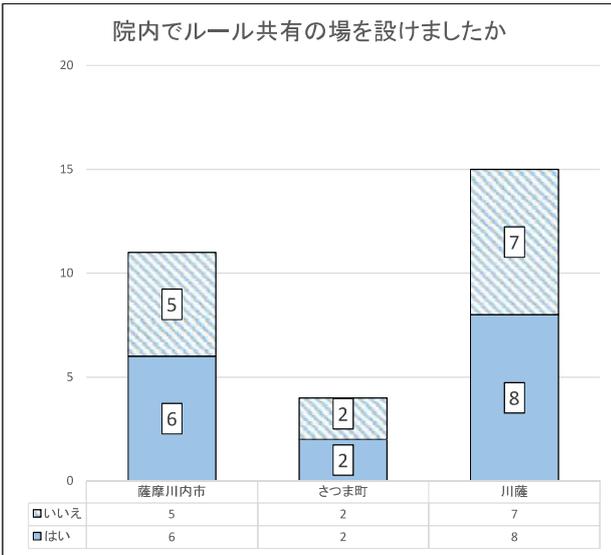
	薩摩川内市			さつま町			計		
	全体数	回答数	回収率	全体数	回答数	回収率	全体数	回答数	回収率
居宅介護支援事業所 ケアマネジャー	87	71	81.6%	17	17	100%	104	88	84.6%
地域包括支援センター ケアマネジャー	37	34	91.9%	10	10	100%	47	44	93.6%

② 医療機関アンケート

	薩摩川内市			さつま町			計		
	全体数	回答数	回収率	全体数	回答数	回収率	全体数	回答数	回収率
医療機関	11	11	100%	4	4	100%	15	15	100%

10

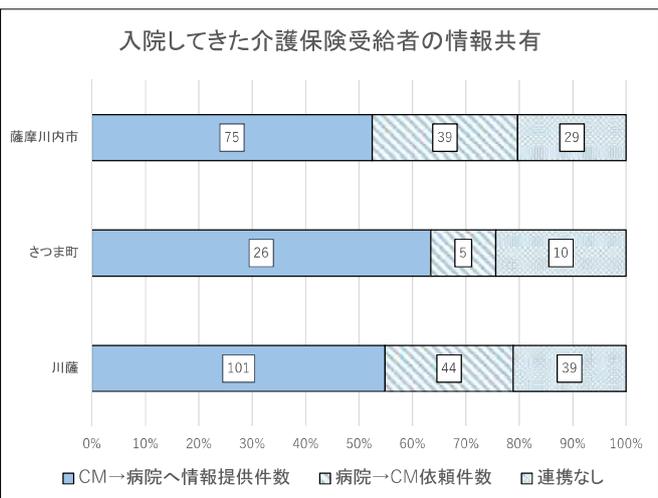
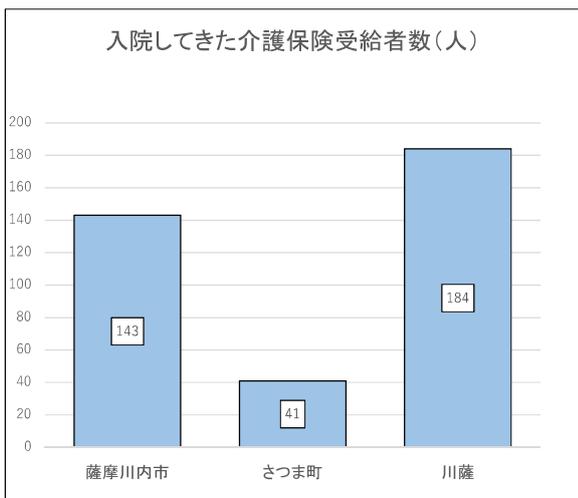
医療機関アンケート結果



- 院内でルールの共有の場を設けていた医療機関は**約5割だった。**
- ほとんどの医療機関が退院時情報提供書や看護サマリー等を活用して情報提供していた。書式を活用していない1か所は電話により情報提供していた。

11

入院時の状況



- 川薩地区の入院時にケアマネジャーから病院情報提供があった件数は101件(54.9%)。R3年7月の76件(50.3%)より増加した。
- 病院からケアマネジャーに連絡し情報提供を依頼した件数は44件(23.9%)。
- 入院時に情報共有がなかった件数は39件(21.2%)だった。

12